

---

# 消えた記憶と桜とゴリラ

ゆんき&ずんだくん

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

消えた記憶と桜とゴリラ

### 【Nコード】

N1440S

### 【作者名】

ゆんき&ずんだくん

### 【あらすじ】

友だちと一文一文交互に書いて行きました。

ゆんき&ずんだでお送りします。

急な展開や、わけのわからないことも出てくるとは思いますが、  
お楽しみいただけたらなと思っています。

目が覚めた。

目をあけるとそこには真白な天井が  
視界に入った。

「知らない天井だ」

『お前……』

ほんとにここが分からないのか？

君は一体……気が付いたら僕はここに居て  
痛っ……包帯？

『あんまり動くなよ。しばらく寝てろ。  
馴れ馴れしくて腹が立つ。』

「ありがとう」

誰なんだろっこのひとは

見覚えさえも、なかった

しかし僕にはどうすることもできない  
自分のことさえもわからないのだから

そう、僕は

……記憶を失ったんだ

まだ光りを覚えたばかりの目が瞬く

病室に差し込む日差しと、庭にある桜が印象的だ。

でも、

気持ちは真白。

日差しも桜も、

今の僕にしてみれば

ただの風景だ。

またさっきの男が入ってきた。

白衣を着ているから先生だと思っただが、

堂々と病室でタバコを吸うというのは良いのだろうか？

『君名前は？』

自分の名前？

何か思い出せそうだ・・・

「・・・はる！はるが大切な名前だった気が」

『はつきり覚えてないのかい？』

冷たいまなざしを向けられた。

しかし覚えていないのだから仕方がない

僕の意識は突然、部屋の明かりをつけるスイッチを

OFFからONに切り替えたかのように

急に鮮やかになったのだから。

意識を失う前の記憶はもちろん

夢すら出てこなかったのだ。

僕は絶望という感情で心がもやもやしだした。

先生は何も言わず、無表情のまま病室を出た。

くそ！！なんで！！！！  
声にならない叫びとなっていた。

だから僕は祈った……  
ねりりきるるはらら……何かの呪文か？

ねりりきるるはらら……  
ねりりきるるはらら……  
何度も心の中でとなえた  
聞いたことがある

大勢の前でこの言葉を  
発した記憶がある！！！！

そして僕は涙を流したんだ  
繋がった……その思いが駆け巡る

ねりりきるるはらら  
ねりりきるるはらら  
何度も唱える。  
何度も繰り返す。

わらにもすがる思いだった。  
僕の記憶の手掛かりは  
「はる」「ねりりきるるはらら」

それだけですべてが繋がったんだ。  
僕の名前は

納谷佳汰

はるっていうのは元カノの愛称で、そいつのせいで今は病室に

ねりりきるるはららっていつのは中三の合唱曲で感動のあまり泣いてしまったんだ

思い出した・・・

思い出した！！！！

でも今ここに居るのはおかしい。

今日はさやかと

動物園に行く約束をしている。

さやかというのは俺が今気にかけているかわいい女の子だ。

たしかゴリラを見ようとして・・・

なぜここに居るんだ？

早く行かなきゃ！！！！

そうして俺は飛び出した。

後に残ったのは乱れたシートと無機質なまでの病室・・・

今日も窓から見える桜は綺麗だった。

俺は、一分前まで寝ていたとは思えないほど、

全力で走った。

頭の中はさやかではなく

ゴリラでいっぱいだった。

あのしなやかな筋肉・完璧なまでのナツクルウォーキング  
解説しよう！！！！

ナツクルウォーキングとは、ゴリラや猿がウホッツイい男  
と言いながらこぶしをついて歩くアレだ・・・

俺は頭にそれしかなかった  
もうさやかはどうでもいい!!  
ゴリラに逢いたい!!!  
そしてゴリラに伝えるんだ。

好きだ。と。。

完

(後書き)

解説・・・

ネリリキルルハララとは「20億光年の孤独」という合唱曲の一部です。

納谷佳汰はリア友です。

動物園に行くと言っていたので友だちと書きました

どうでしたか？楽しんでもらえたでしょうか？

あなたの口角が少しでも上がっていることを願います。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n1440s/>

---

消えた記憶と桜とゴリラ

2011年10月8日18時36分発行